

四日市花火大会に関する提言 ~ 概要版 ~

1. 花火大会の再開について

現在、四日市花火大会は休止されているが、休止期間を花火大会の運営を見直す機会ととらえ、大日市まつりなどのあり方を考える市民会議（以下、「市民会議」という）では、再開の可能性や運営面等様々な課題について検討を行った。その結果、花火大会を再開する条件は整ったと判断でき、多くの市民が再開を望んでいることとも併せて、四日市花火大会を平成17年度から再開することを強く希望する。

2. 中止に至った経緯

会場周辺の安全性、適切な代替開催地がない、運営面の課題、交通アクセス面の課題等、これらを総合的に考慮し四日市花火大会は平成15年度から開催中止になっている。

中止するにあたっては、打ち上げ場所の安全性・妥当性、公共交通機関の利便性や駐車場の確保等を条件に、市内の6ヶ所を対象に代替地の検討がなされたが、いずれの場所も条件を満たせず、安全に開催できる場所はないと判断された。

3. 花火大会の再開に向けて

会場周辺の安全性

1) 会場周辺の状況

観覧席（富双埠頭）、打ち上げ場所（霞ヶ浦北埠頭）とも、調整は必要であるものの、継続的に利用が可能な状況にあると判断できる。

2) 交通アクセスの課題

警察やバス会社等の関係者と協議を行うことで課題を解決できるものと考えられる。また、臨時バスに頼らない運営方法も検討に値すると考える。

運営面の課題

1) 運営資金

市民レベルに協賛が広がることで、これまで以上に四日市花火大会が市民に親しまれる花火大会になり、安定的に運営資金が確保できるようになるものと考ええる。（例えば、初盆供養、結婚祝、同窓会等として花火を打ち上げることや有料観覧席（例えば家族向けの桟席）の販売も検討すべきである）

2) ゴミ問題

来場者への啓発やゴミを捨てにくい環境を作り出すことによって、ゴミの排出量を減らすことが可能になると考える。また、ボランティアの参加を積極的に呼びかけられたい。

花火大会再開の課題について

来年度以降、会場周辺の状況については、種々の調整は必要であるが、利用が可能な状況にあると判断できる。また、臨時バスの運行については、課題はあるものの関係者と協議することで解決が可能と考えられる。さらに、運営面の課題も、工夫を行うことで解決することが可能であると考えられる。

その他

・演出方法

会場の立地（コンビナートが背景）を生かす等、花火大会の特色（例えば、音楽花火やスターマインの連発打ち上げ等）を打ち出し、魅力を高める努力を行うべきである。また、四日市花火大会の特色をパンフレットに明記すべきである。

・運営資金

パンフレットの表記について、例えば、市民協賛の目的・趣旨を明記する等、企業にとっても個人や有志の団体にとっても協賛金の協力を得やすい雰囲気作りに努めるべきである。

・市民の参加を促す企画

市民が花火大会に参加して楽しめる企画を検討すべきである（花火大会が一層盛り上がり上がるとともに、花火大会と市民との一体感が生まれると考えられる）。